

令和3年度 事業報告

社会福祉法人 大鰐町社会福祉協議会

令和3年度 大鰐町社会福祉協議会事業報告

1 法人経営の組織基盤の強化

(1) 会員の加入促進

地域福祉の推進に参加・協働する地域住民及び団体・企業等を構成員とし、地域福祉への理解を促し、安定した財源の確保のため、一般会員の他、特別会員・賛助会員の新規加入の促進に努めた。

会員・会費の状況

会員区分	加入数 (件)	金額 (円)	前年度比 (円)
一般会員 (原則1,000円)	1,964 【2,016】	1,963,500 【2,016,000】	△52,500
特別会員 (2,000円以上)	23 【 23】	46,000 【 46,000】	0
賛助会員 (3,000円以上)	65 【 60】	236,000 【 228,000】	8,000
合計	2,052 【2,099】	2,245,500 【2,290,000】	△44,500

※ 【 】内は令和2年度実績

(2) 理事会・評議員会の開催状況

第1回理事会 6月10日開催 理事12名・監事2名出席	
理事会 議案番号	議案内容
第1号	大鰐町社会福祉協議会経理規程の一部改正
第2号	令和2年度事業報告
第3号	令和2年度収支決算について
第4号	評議員候補者の推薦について
第5号	理事候補者の推薦について
第6号	監事候補者の推薦について
第7号	第1回評議員会の開催案について

第2回理事会 6月25日開催 理事9名・監事2名出席	
理事会 議案番号	議案内容
第8号	会長の選定について
第9号	副会長の選定について
第10号	常務理事の選定について

第1回評議員会 6月25日開催 評議員16名・理事4名・監事1名出席	
評議員会 議案番号	議案内容
第1号	令和2年度事業報告について
第2号	令和2年度収支決算について
第3号	理事の選任について
第4号	監事の選任について

第3回理事会 12月15日開催 理事10名・監事1名出席	
理事会 議案番号	議案内容
第11号	就業規則の一部改正について
第12号	経理規程の一部改正について
第13号	給与規程の一部改正について
第14号	中央児童館運営規程の一部改正について
第15号	令和3年度収支補正予算案について
第16号	事務局長事務取扱者の選任について
第17号	老人福祉センター所長事務取扱者の選任について
第18号	中央児童館館長事務取扱者の選任について
第19号	評議員選任解任委員会の事務局委員の選任について

第4回理事会		3月17日開催	理事8名・監事2名出席
理事会 議案番号	議案内容		
第20号	給与規定の一部改正案について		
第21号	介護用品支給事業運営要綱の一部改正案について		
第22号	社会福祉協議会事務局長の選任について		
第23号	老人福祉センター所長の選任について		
第24号	中央児童館館長の選任について		
第25号	令和3年度資金収支補正予算案		
第26号	令和4年度事業計画案について		
第27号	令和4年度資金収支予算案について		
第28号	令和3年度第2回評議員会の開催について		
第29号	令和4年度社会福祉法人大鰐町社会福祉協議会役員等賠償責任保険契約の締結について		

第2回評議員会		3月24日開催	評議員15名・理事4名出席
評議員会 議案番号	議案内容		
第5号	給与規程の一部改正案について		
第6号	介護用品支給事業運営要綱の一部改正案について		
第7号	令和3年度第2次資金収支補正予算案について		
第8号	令和4年度事業計画案について		
第9号	令和4年度資金収支予算案について		

(3) 評議員選任・解任委員会の開催状況

月日	出席者	内 容
6月11日	5名	第1回評議員選任・解任委員会

(4) 監査会の開催状況

月日	出席者	内 容
5月21日	2名	令和2年度事業報告及び決算監査
10月15日	2名	令和3年度中間監査

(5) 三役会の開催状況

月日	出席者	内 容
5月25日	4名	第1回理事会及び第1回評議員会に提出する議案等について
12月19日	4名	第2回理事会に提出する議案等について
1月7日	4名	職員募集の状況、選考、採用試験及び今後の採用方針について
2月25日	4名	第3回理事会及び第2回評議員会に提出する議案等について
3月23日	4名	ハラスメント防止対策の強化義務等について

(6) 部会・委員会の開催状況

月日	出席者	内 容
4月28日	3名	福祉サービス苦情解決第三者委員会
6月23日	3名	第1回調査広報部会
8月27日	4名	第2回調査広報部会
12月13日	4名	第3回調査広報部会
3月23日	4名	第4回調査広報部会

(7) 事務局体制の充実と職員の資質向上

① 職員会議、ミーティング等の開催

職員の資質向上と福祉サービス向上及び各部署間の連携・協力を目的に、必要に応じて随時職員会議を開催した。

② 研修会等の参加状況

月 日	内 容 等	出席者	場 所
6月29日	第1回多機関協働事業等に係る町村役場及び町村社協担当者会議	1名	藤崎町
9月2日	生活支援コーディネーター養成研修 基礎編	1名	オンライン
9月10日	自立相談支援ネットワーク会議・重層的支援体制整備に向けた情報交換会	1名	オンライン
9月30日	生活支援コーディネーター養成研修 実践編Ⅰ	1名	オンライン
10月6日 7日	防災管理講習	1名	弘前市
11月1日	地域共生社会の実現に向けた情報交換会	1名	オンライン
11月5日	生活支援コーディネーター養成研修 実践編Ⅱ	1名	オンライン
11月9日	津軽広域社協連絡協議会職員研修会	2名	田舎館村
11月10日	フードバンク研修会	1名	オンライン
11月10日	ハラスメント対策説明会	1名	弘前市
11月15日	第2回多機関協働事業等に係る町村役場及び町村社協担当者会議	1名	藤崎町
11月18日	認知症研修会	1名	大鰐町
12月3日	地域共生社会の実現に向けた社会福祉法人・住民・行政による勉強会	3名	大鰐町
12月7日	第14回地域福祉活動推進会議	1名	平川市
1月13日	津軽広域社協委員研修会	5名	弘前市
2月9日	権利擁護成年後見セミナー	1名	オンライン
2月21日	市町村社協ボランティア担当者会議	1名	オンライン
3月24日	青森県型地域共生社会推進フォーラム	1名	オンライン

③ 職員の資格等取得状況（臨時・パート職員含む） 令和4年3月31日現在

資格等の種類	人数	資格等の種類	人数
社会福祉士	0	幼稚園教諭二種免許	3
社会福祉主事	1	放課後児童支援員	6
介護福祉士	1	保育士	5
福祉有償運送運転者講習課程	2	小学校教諭一種免許	2
児童厚生一級指導員	2	調理師	1
幼稚園教諭一種免許	1	栄養士	1

2 地域支えあい体制の構築

(1) ほのぼのコミュニティ21推進事業

在宅で生活している一人暮らし高齢者などを対象に安否確認や状況把握をするため、地区ごとにボランティアの「ほのぼの交流協力員」を53名配置し、地域の支え合いづくりを目的とした大鰐町からの委託事業である。

- ・ほのぼの交流協力員研修会「地域支え合い活動研修会」の開催 ⇒ 中止
 日時 1月27日（木）
 内容 中南地域県民局 地域連携部 山谷良文 氏より説明
 「高齢化社会における大鰐町の暮らしについて」

※ 新型コロナウイルス感染症感染拡大につき中止とし、地域での支え合いに係るボランティア活動についてのアンケート調査のみ実施。高齢化が進む大鰐町でどのようなことをしたらよいか率直な意見を聴し、今後の取り組みの参考となった。

(2) 緊急通報装置設置事業（福祉安心電話）の推進

在宅で生活している一人暮らし高齢者などを対象に、緊急時の安全確保・不安や孤立を解消するため「福祉安心電話」を設置し、24時間体制の見守り活動を実施している。

- ・設置台数 15台（うち3台は一時休止中）
- ・福祉安心電話協力員数 34名

(3) 福祉懇談会「ほっとカフェ」、世代間交流「出張ふれあい児童館」の開催

地域の課題についての情報交換の場や、地域交流の機会、世代を超えた地域の繋がりづくりの場として実施しているが、新型コロナウイルス感染症拡大のため自粛を余儀なくされ、実施を希望する地区がなく、比較的に感染状況が落ち着いた11月に、虹貝新田地区で「出張ふれあい児童館」1回のみ開催となった。

- ・日時 11月27日（土）午後1時30分から午後3時30分
- ・場所 虹貝新田へき地保健福祉館
- ・協力 区長、副区長、民生委員児童委員、ほのぼの交流協力員
- ・内容 レクリエーション、くじ引き、情報交換

(4) ふれあいサロンの開催

地域住民の集いの場・地域の情報を共有できる場づくりを総合福祉センターで行った。また、密にならないよう対策を講じて行ったが、第4回から第6回は青森県内での急激な新型コロナウイルス感染症拡大を受けて中止とした。

	開催日	内容	参加者
第1回	10月5日	フェルトでブローチ作り セブンイレブン移動販売	13名
第2回	11月2日	ステンドグラス風壁掛け作り	20名
第3回	12月7日	お笑い漫談上映会	10名
第4回	1月18日	彩の書初め セブンイレブン移動販売	(中止)
第5回	2月1日	折り紙で作る万華鏡	(中止)
第6回	3月29日	桜もち作り	(中止)

(5) 生活支援整備体制事業の推進

当該事業は、高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って自分らしい生活するため、高齢者の生活支援ニーズを把握し、不足する支援サービスを創出したり、既存の取組み等へ繋げることを目的としている。

本来であれば、積極的に地域に出向いてニーズの把握に努めなければならないが、新型コロナウイルス感染症の影響により、高齢者と接することが困難な状況であった一方、県や県社協が主催する研修へ参加したり、レク用具貸出し等を兼ねて既存の通いの場へ足を運ぶことで、今後コロナ禍にあっても、工夫しつつこの事業を進めていくための新たな示唆を与えられた。

3 福祉教育・ボランティア活動の推進

(1) ボランティア推進校の指定

町内の小中学校を「ボランティア推進校」として指定し、ボランティア活動や体験学習の機会を提供し、児童・生徒のボランティア活動推進を目的に実施

・指定校状況	〔 大鰐小学校 34年目 大鰐中学校 29年目 〕
--------	------------------------------

(2) 小学校のボランティアスクール

- ・月 日 10月14日（木）
- ・場 所 大鰐小学校
- ・対 象 6年生49名
- ・内 容 車いす体験・弱視体験

(3) 大鰐温泉つつじ祭り車椅子ボランティア事業（開催期間の土・日曜日に実施）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、大鰐温泉つつじ祭りが中止となり自由来場となったことから、当該事業も中止となった。

(4) 一人暮らし高齢者等除雪ボランティア事業

大鰐中学校の生徒がボランティア連絡協議会と連携し、1月29日、2月5・12・19日の4回実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

中学校では、この活動に代えて校内の清掃ボランティアを募り、粗大ごみの整理や、普段行き届かないところの清掃を行った。

4 生活困窮者等の自立支援

低所得者などを対象とした資金貸付制度および生活困窮者自立支援事業、フードバンク等について関係機関と連携を図りながら活用を推進した。

生活困窮に関する相談は全26件あり、下記事業の活用や関係機関と連携し、自立を支援した。

(1) たすけあい資金貸付事業（債権者：大鰐町社協）

- | | | |
|------------|----|----------|
| ・令和3年度貸付決定 | 3件 | 150,000円 |
| ・令和3年度償還金額 | 合計 | 182,000円 |

(2) たすけあい援助事業（物資支給）

- ・令和3年度利用世帯 2件（紙おむつ、粉ミルク）

(3) 生活福祉資金貸付事業（債権者：青森県社協）

- | | | | |
|------------|---------------|----|------------|
| ・令和3年度貸付決定 | （コロナ特例）緊急小口資金 | 5件 | 1,000,000円 |
| | （コロナ特例）総合支援資金 | 1件 | 600,000円 |
| ・令和3年度償還率 | | | 51.56% |

(4) 生活困窮者自立支援事業との連携

個別に支援対象者の相談対応、関係機関との打ち合わせを行った。家計管理に関する課題が多く、就労支援や様々な制度の情報提供をした。

- ・ 中南地域窓口支援調整会議 支援対象者 14名

(5) フードバンクの活用

一時的な生活困窮状態の方へ無償で食品提供を行い、たすけあい資金貸付などのつなぎ等として提供した。

- ・ 令和3年度支給対象件数 6件

5 総合相談・援助体制の確立

(1) 大鰐町心配ごと相談所の開設

大鰐町総合福祉センターにおいて、一般相談所を開設し、町民の心配ごとの解決・解消を支援した。

- ・ 開設日 8月5日、9月9日、10月6日、11月11日、12月27日、2月3日、3月25日（計8回）
- ・ 相談件数 9件

(2) 広域法律相談所事業

毎月、平川市社協、西目屋村社協、藤崎町社協、田舎館村社協、大鰐町社協の持ち回りで弁護士による法律相談所を開設し、町民の様々な心配ごとの解決・解消を支援した。

- ・ 開設日 11回（うち大鰐町総合福祉センターで2回）
- ・ 相談件数 9件（大鰐町で実施した2回中での相談件数）

6 生活支援体制の確立

(1) 日常生活自立支援事業

高齢化などにより、判断能力が不十分な方を対象に、生活支援員と連携し、日常的な金銭管理や重要書類の預かりなどのサービスを実施した。

- ・ 利用者 16名
- ・ 生活支援員 3名
- ・ 支援件数 162件（利用者1名につき、月1～2回利用）

(2) 福祉サービス苦情解決第三者委員の設置

大鰐町が実施している指定管理施設（老人福祉センター、児童館）利用者などからの苦情や要望を適切に解決するために設置（委員3名）

令和3年度は苦情がなかったものの、放課後児童クラブ利用者の交通安全確保に関する意見が委員からあり、役場へ要望を行った。

(3) 介護用品支給サービス事業

在宅生活をしている要介護状態の高齢者などに対して紙おむつ等の介護用品を支給することで、経済的負担の軽減を図ることを目的に実施した。

- ・地域支援任意事業（要介護4～5の非課税世帯 大鰐町委託事業）： 対象者 延べ60名
- ・介護用品支給事業（要介護1～3の非課税世帯 社協独自事業）： 対象者 延べ35名

(4) 福祉機器の貸出事業

在宅の要介護状態の高齢者や障がいのある方を対象に、経済的負担と介護負担などの軽減を目的とした、福祉機器（車椅子等）の貸出をおこなった。

- ・貸出件数 5件（車椅子）

7 福祉啓発活動の推進・福祉情報の提供

(1) 社会福祉法人大鰐町社会福祉協議会のホームページ公表

社協のホームページを効果的に活用し、福祉に関する情報の提供や、社協が行った事業のPRを行った。

(2) 社協広報誌「ウェルフェアおおわに」の発行

年に4回発行し、住民の皆様に福祉情報及び社協の事業活動の情報提供を行った。

8 福祉バス事業

冬季間、引きこもりがちとなる高齢者の活動量の向上と集いの機会の提供を目的として、例年11月から3月まで、町内各地区から総合福祉センターまでの往復区間を運行する高齢者入浴福祉バス事業を行い、併せて令和3年度冬季間高齢者生きがい事業「元気ハツラツ!オオワニマチD!!」を実施した。

日程は次表のとおりで、当初は新型コロナウイルス感染防止の観点から午前中のみの運行としていたが、12月からは例年どおり午後3時までとした。

しかし、令和4年1月には県内に新型コロナウイルス感染症まん延防止措置が発出されたため、1月以降の当事業は中止となった。

運行ルート	運行日	利用者数
①駒ノ台、九十九森、唐牛、長峰、苦木方面 ②森山、宿川原方面	11/16（火）、12/14（火）、 1/18（火）、2/15（火）、 3/1（火）、3/15（火）	11/16:16名 12/14:15名
①高野新田、居士、三ツ目内、島田、早瀬野、虹貝新田、虹貝方面 ②八幡館・鯖石方面	11/24（水）、12/16（木）、 1/20（木）、2/17（木）、 3/3（木）、3/16（水）	11/24:22名 12/16:18名

9 指定管理者制度・受託事業の効果的運営（大鰐町指定管理：令和4年度～令和8年度）

(1) 大鰐町老人福祉センターの管理運営（14～15頁）

(2) 大鰐町中央児童館の管理運営（16～23頁）

(3) 大鰐町戦没者追悼式（大鰐町主催 社協事務主管）

大鰐町総合福祉センターにおいて、町長及び関係団体及び戦没者の関係者35名の参加によりしめやかに戦没者を追悼した。

・日 時 8月20日（木）

(4) 第17回大鰐町長寿福祉祭（大鰐町主催 社協事務主管）

総合福祉センターにおいて式典を開催することとしていたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け式典は中止とし、顕彰者の記念撮影、及び記念品の贈呈のみとした。

・日 時 9月8日（火）

・対象者 ①長寿番付 横綱・大関 5名
②90歳顕彰者 81名
③金婚夫婦 3組

10 福祉関係団体への援助及び団体育成支援

(1) 助成事業

社協の補助金交付を受ける5団体について団体運営の健全化を図ると共に、団体の目的を達成するため、団体の育成支援をした。

・補助金交付団体

大鰐町老人クラブ連合会、大鰐町単位老人クラブ（11団体）、大鰐町遺族会、大鰐町母子寡婦福祉会、大鰐町身体障害者福祉会

(2) 団体事務局

社協が各団体の事務局となり、協働して各事業を展開した。なお、次の4団体については、社協の事業と密接に連携しており、事業を進めるにあたり、不可欠の団体となっている。

なお、大鰐町ボランティア連絡協議会は、県ボランティア連絡協議会の解散に伴い、令和3年度で解散となった。

・団体一覧

大鰐町老人クラブ連合会、大鰐町ボランティア連絡協議会、大鰐町共同募金委員会、あすなろ母親クラブ

11 共同募金運動への協力

大鰐町共同募金委員会が中心となり、10月1日より共同募金運動を実施した。依然としてコロナ禍にあり、また人口が減少していながらも、前年度の募金額に近い募金額となった。

令和2年度から500円以上の寄付者に対して、町のキャラクターが描かれたピンバッジを進呈しているが、前年度より数十個多く進呈された。

・募金運動期間	10～12月	
・募金金額合計	1,593,883円	(目標額1,500,000)
■内訳	戸別募金	1,303,860円
	街頭募金	12,378円
	学校募金	31,692円
	職域募金	56,809円
	その他	189,144円 (ピンバッジ寄附を含む)

12 関係機関・団体との連携

次の機関と連携をとり、各事業の運営を行った。

- ・大鰐町
- ・津軽広域社会福祉協議会
(弘前市社協、黒石市社協、平川市社協、藤崎町社協、板柳町社協、田舎館村社協、西目屋村社協)
- ・青森県市町村社会福祉協議会連絡協議会

令和3年度 大鰐町老人福祉センター事業報告

1 事業概要

高齢者福祉の向上を図るため、高齢者などからの各種相談に対応する。そのため、健康の保持増進・教養の向上およびレクリエーションなどに関する便宜を供与し、老人クラブ活動への援助も行う。また、施設の使用料徴収および減免、設備の維持管理及び必要に応じた修繕などに係る業務を行う。

2 公共施設の管理運営

月	開館日数	浴場開設日数	入浴者数(人)	入浴料(円)	備 考
4月	25	25	361	31,000	町外1名(300円)
5月	24	23	335	28,200	30日(日)会館(婦人科検診)
6月	27	26	315	26,200	6日(日)開館(複合検診)
7月	25	24	290	23,200	15日臨時休業(ポンプ交換)
8月	25	25	291	23,700	
9月	24	24	310	25,200	
10月	26	25	319	25,900	21日臨時休業(源泉電気工事)
11月	24	24	330	27,700	
12月	26	24	309	26,700	・町外高齢1名(200円) ・11日臨時休業(断湯) ・12日(日)開館(クリスマス会)
1月	23	22	281	24,200	4日臨時休業(調整) 町外のべ2名(600円)
2月	22	22	291	25,400	町外のべ2名(600円)
3月	26	26	358	30,600	・町外高齢のべ3名(600円) ・町外1名(300円)
合計	297	290	3,790	318,000	
月平均	25	24	316	26,500	

※1 温泉に係るレジオネラ属菌検査(年4回実施)は全て異常なし。

※2 上水・井水共に色度が基準値を超過し、再検査を実施。再検査の結果は異常なしとなったが、受水槽及び配水管の老朽化が原因と思われるため、早急な対策が必要と思われる。

3 その他事業

入浴福祉バス事業と併せて、令和3年度冬季間高齢者生きがい事業「元気ハツラツ!オオワニマチD!!」を実施した。

行事	開催日	参加人数
チェアヨガ	11/16 (火) 、 11/24 (水)	38名
クリスマスお楽しみ会	12/14 (火) 、 11/16 (木)	33名
ニュースポーツ体験	1/20 (木)	新型コロナウイルスにより 中止
紙コップピンポン選手権	2/15 (火) 、 2/17 (木)	
ふまねっと体操	3/3 (木)	
室内ボウリング体験	3/15 (火) 、 3/16 (水)	

※全10回の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症まん延防止措置の発令により、令和4年1月以降の開催は中止となった。

4 新年度からの対応

- (1) 新型コロナウイルス感染症の影響で高齢者の外出する機会が減っている現状を踏まえ、各地区老人クラブは地区の少人数での活動を絶やさないように広報等で呼び掛ける。また、連合会としては福祉センターで行う事業が多いが、活動内容や開催方法についてよく考え、適宜対策を行った上で開催することとした。
- (2) 冬期間開催の冬季間高齢者生きがい事業は、利用者数にかかわらず、できるだけ中止とせずに対策をして集いの機会を提供することとした。
- (3) 社会福祉協議会の事業に関連し、施設の有効活用を進めることとした。
- (4) 老朽化が著しいため、役場と協議のうえ、必要に応じて施設の補修を適宜行うこととした。

大鰐町中央児童館 令和3年度年間事業実施状況

1 事業概要

- (1) 幼児から高校生までを対象とし、健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにする。
- (2) 昼間保護者のいない家庭の児童を対象とし、遊びを主とする活動を行い、安心して過ごせる居場所を作る。
- (3) 地域住民と子どもたちがふれあいながら交流できる活動と場所づくりをし、地域全体が子育てを行う環境づくりに努める。

2 年間目標

- (1) 仲間との色々な遊びや体験を通して心身ともに健やかな成長を目指す。
- (2) 異年齢児との関わりに中で、思いやりの心と社会性を育む。
- (3) 日常のあいさつ、言葉づかいや公共の場での基本的ルールを身につける。
- (4) 人を傷つけたり、ものをこわしたりしない。

3 年間事業

月	日	曜日	事業名	内容	人数	備考
4	中旬		出前じどうかん	読書まつりにコーナー等を出前する	中止	中央公民館、読書推進会
	下旬		ウェルカムパーティー	新しい友だちを迎え、お楽しみ会をする	中止	福祉センター
5	8	土	いも植え	じゃがいもの植付け	28	福祉センター裏畑 子育て支援 世代交流
	8	土	花いっぱい作戦①	中庭につつじ、花壇やプランターに花を植え楽しむ		福祉センター 花壇他 世代交流
	11	火	児童館運営委員会	前年度の報告と今年度の事業計画について	15	福祉センター
	17	月	ふれあいクッキング I	栄養について学ぶとともに調理を通してふれあう	中止	老人クラブ
	17	月	花いっぱい作戦②	花壇、プランターの手入れをする		福祉センター 花壇他 世代交流
27	木	公園の安全点検 危険箇所点検	地域や公園で遊具等の点検を行う 学校から児童館までの危険箇所の点検をする	7	母親クラブ	
7	3	土	まち探険	『大鰐』の知らなかった部分を知りながら散策する通学路の危険箇所を確認する	34	町内・福祉センター
	29	木	児童館まつり	規模を縮小して平日に開催	107	三世交代、母親クラブ、 中学生ボランティア
	30	金	金魚ねぶたを作ろう	身近な材料を使用して作り、伝統行事の雰囲気を楽しむ	17	福祉センター

月	日	曜日	事業名	内容	人数	備考
8	3	火	工作をがんばろう①	置型ランタンを作ろう	19	福祉センター
	10	火	工作をがんばろう②		6	
	4	水	アイスづくり	吸熱反応を利用してアイスづくりをする	38	福祉センター
	5	木	スライムづくり	洗剤の科学反応を利用してスライムを作る	37	福祉センター
	6	金	じゃがいも掘り	春に植えたじゃがいもの収穫を楽しむ	33	福祉センター、子育て支援
	11	水	すいかを食べよう	ビーチボールですいか割りごっこを楽しみすいかを食べる	31	福祉センター 花壇他 世代交流
	18	水	お化け屋敷で遊んでみた	お化け屋敷を子ども達主体で作成、運営し楽しむ	25	福祉センター
	23	月	館外活動①	仲間とともにボウリングを楽しむ	(48)中止	弘前ファミリーボウル
			世代間交流夏のお茶会	地域の方々とお茶会を通して交流する	中止	福祉センター
9	11	土	ふれあいクッキングⅡ	栄養について学ぶとともに調理を通してふれあう	中止	母親クラブ
10	13	水	防犯訓練	不審者対応訓練	35	職員、児童
	16	土	おでかけ児童館	公園や体育施設に出かける	27	弘前交通公園・ねふた村
	上旬～中旬		スポーツ交流会と焼肉会	親子でスポーツや焼き肉を楽しむ	中止	福祉センター
	下旬		科学遊びを楽しもう	仲間とともに色々な科学あそびを楽しむ	延期	福祉センター
11	6	土	木工教室	地域の大工さんに教わる木工作品作り	21	親子参加型
	16	火	福祉センターみんなの作品展	チャレンジクラブ等での作品や母親クラブの作品を展示する	開催	福祉センターロビー(12/12まで)
	27	土	出張ふれあい児童館	地域の方々と交流しながら様々な遊びを楽しむ	32	虹貝新田へき地保健福祉館
12	12	日	クリスマスお楽しみ会	ステージ、遊びのコーナー、手作り品販売など	174	世代交流、母親クラブ、子ども会、中学生ボウリング、子育て支援、読書推進基地
	中旬		ふれあいクッキングⅢ	クリスマスメニューと栄養について学ぶ	中止	民生委員児童委員
	27	月	パソコンでカレンダー作り	パソコンを利用してカレンダー作りを楽しむ	21	福祉センター図書室
1	6	木	雪あそび	雪だるまやかまくらなどを作ったりして雪遊びを楽しむ	32	福祉センター
	上旬		わんこそば大会	わんこそば大会を楽しむことを通して交流する	中止	福祉センター、子育て支援
	13	木	三世代交流もちつき会	三世代が餅つきと遊びを通して交流する	(38)中止	母親クラブ、老人クラブ、子育て支援他
	13	木	新春お茶会	日本文化に触れながら、地域の方々とお茶会を通して交流する	57	福祉センター
	14	金	館外活動②	ボウリングと昼食会を楽しむ	中止	弘前市ファミリーボウル

月	日	曜日	事業名	内容	人数	備考
2	17	水	世代間交流春のお茶会	地域の方々とお茶を楽しむお迎え	中止	福祉センター 老人クラブ(サロン)
	27	日	入学おめでとう会	新入学児童を迎えて地域の方々とお祝いする	中止	町内新入学児童、 保護者
3	3	木	児童館運営委員会	今年度の事業実施状況と次年度事業の検討	11	福祉センター
	29	火	館外活動③	仲間とともに映画鑑賞と昼食を楽しむ	中止	弘前市内
	30	水	がんばった会	お楽しみ会で今年度を振り返る	中止	福祉センター
通年		水	チャレンジクラブ	工作、手芸、おやつ作り、チャレンジランキングやあそびの検定など	760	毎週水曜日

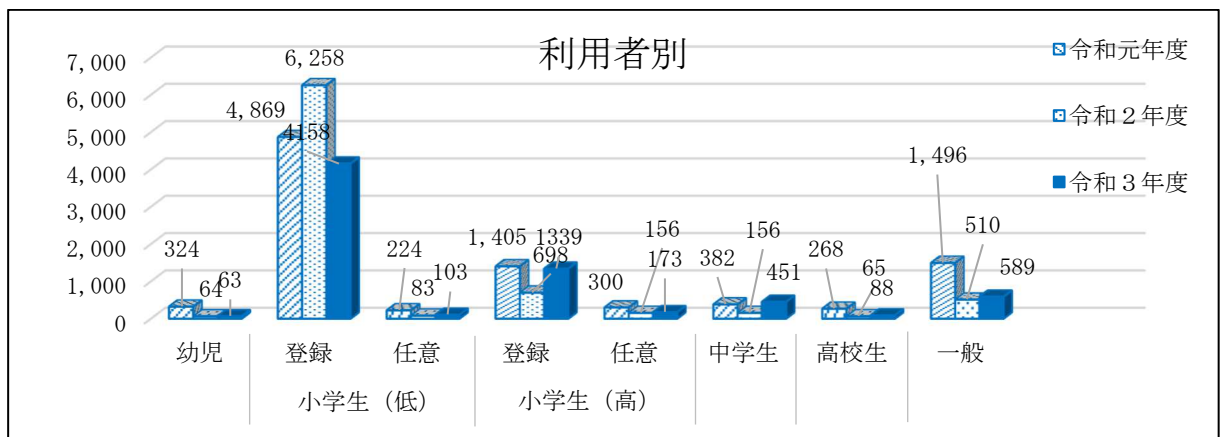
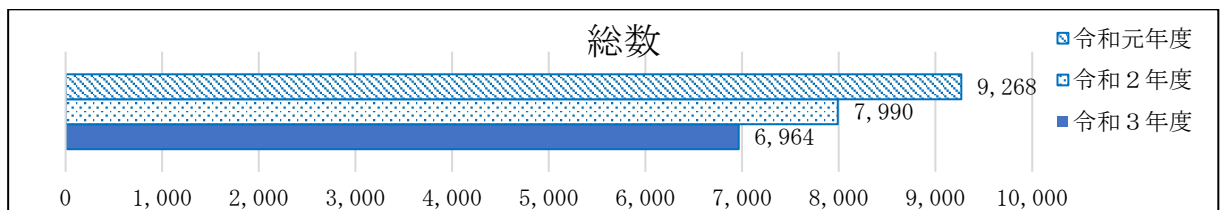
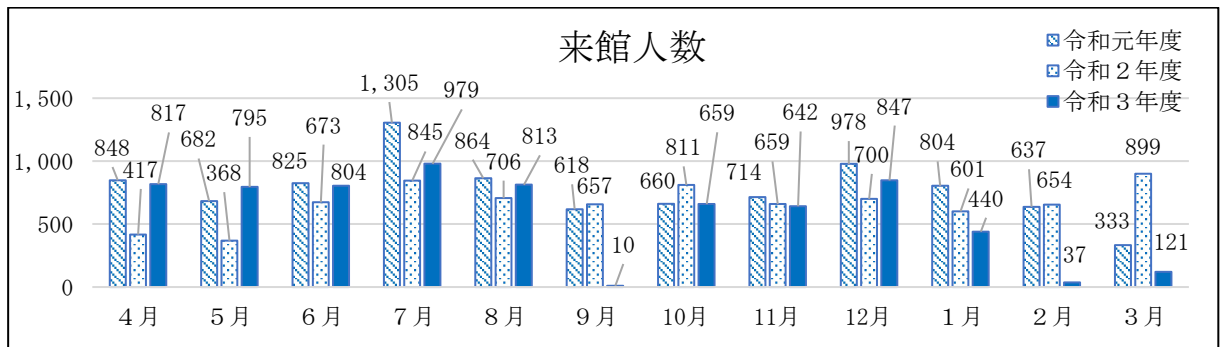
※ 避難訓練(毎月1回)ほか防犯訓練実施)

コロナウイルスの影響により、中止するものもあったが、その時々状況に応じて人数制限をしたり、内容を変更するなどして、できるだけ中止をせずに開催する方向に努めた。

4 利用実績 令和3年度

月	開館日数	幼児	小学生 (低)		小学生 (高)		中学生	高校生	一般	計	全体 一日平均	うち登録 一日平均	その他の 利用状況
			登録	任意	登録	任意							
4	25	6	506	5	189	10	26	18	57	817	33	28	267
5	23	1	477	6	161	41	49	15	45	795	35	28	550
6	26	2	559	8	159	33	16	2	25	804	31	28	1,363
7	25	6	599	15	169	21	109	8	52	979	39	31	983
8	25	5	458	29	198	29	61	10	23	813	33	26	207
9	0(24)		8		2					10			101
10	26	4	431	6	117	20	24	9	48	659	25	21	249
11	24	11	355	15	94	1	52	11	103	642	27	19	688
12	25	27	406	14	138	16	72	6	168	847	34	22	266
1	14(23)	1	249	5	103	2	42	9	29	440			173
2	0(22)		37							37			47
3	0(26)		73		9				39	121			127
合計	213(294)	63	4,158	103	1,339	173	451	88	589	6,964			5,021
利用割合		0.9%	59.7%	1.5%	19.2%	2.5%	6.5%	1.3%	8.5%	100.0%			

年間土曜日開館日数～51日、年間閉館日数～71日



令和3年度時間外利用実績

月	7:15～	7:45～	早番計	～18:30	～19:00	遅番計	時間外 月計
4	23	54	77	11	1	12	89
5	9	20	29	23	2	25	54
6	3	8	11	15	1	16	27
7	30	64	94	3	0	3	97
8	31	119	150	2	0	2	152
9	0	0	0	0	0	0	0
10	3	3	6	5	0	5	11
11	3	3	6	11	0	11	17
12	14	20	34	4	1	5	39
1	52	56	108	4	0	4	112
2	2	0	2	0	0	0	2
3	6	19	25	0	0	0	25
累計	176	366	542	78	5	83	625
月平均	15	31	45	7	0	7	52

9月と1月21日から4月10日までは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、町からの指示を受け、児童館は臨時閉館、放課後児童クラブは利用制限（どうしても家で過ごすことができない場合のみ利用可能）とした。

そのため、当該期間の利用者が大幅に減少し、年間総利用者数も減少した。

時間外利用については、夏休み初日の朝、30人近くの利用があり、対応が困難な状況になったため、保護者に個別にやむを得ない日のみ利用とするように再度声をかけ、20人前後の利用となった。

5 令和3年度の状況

(1) 職員体制

- ・児童館 児童厚生員 2名（6月1日より小笠原淳子採用）
- ・放課後児童クラブ 放課後児童支援員 1名 補助員 1名 計4名で対応
（補助員は6名在籍していてシフト制）

(2) 開設状況

- ・9月1日から30日まで 青森県新型コロナウイルス感染症緊急対策パッケージの実施
児童館 臨時休館
放課後児童クラブ 利用制限（家で過ごすことができない子供に限り受入れを実施）
利用者は、のべ10名程度
- ・1月21日から3月6日まで（1月21日から28日は、小学校休校）
新型コロナウイルス感染急拡大により町からの指示
児童館・放課後児童クラブともに9月と同様の対応。利用者は、数名程度

(3) 放課後児童クラブ
令和3年度 登録人数及び利用状況

令和4年2月1日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
ほぼ毎日利用	13	12	3	6	0	0	34
週何度か利用	3	7	9	8	0	8	35
土曜日 学校休業日利用	9	2	5	3	4	3	26
	25	21	17	17	4	11	95

(4) 環境整備

- ・大鰐町緑化推進委員会事業「苗木植樹計画」を利用して中庭につつじ30本を植樹



- ・中庭に、遊具(丸太砦)を設置



- ・公益財団法人JKAの新型コロナ緊急支援整備事業で空気清浄機を設置



遊戯室



静養室



視聴覚室

(5) 学校から児童館までの安全対策

4月より、週1回職員が交通指導に立っている。

来年度からは、町が回覧等で募集している（有償）が、応募者がいない状況

(6) コロナ対策

- ・ 飲食時は、広い部屋を使用して間隔をあける
- ・ 行事の人数制限や内容の変更
- ・ 保護者の迎えは、玄関ロビーまで など

6 令和3年度 大鰐町中央児童館研修参加状況

期 日	名 称	参加者
5月下旬	青森県児童館連絡協議会館長・職員研修会	中止
5月下旬	地域活動連絡協議会総会及び研修会	中止
6月29日	手作りおもちゃ講習会	小笠原
7月7日	放課後子どもプラン指導員等研修会(前期)	小笠原・成田(千)
9月下旬	放課後子どもプラン指導員等研修会(後期)	中止
11月18日	児童館職員研修会(オンライン)	小笠原
9月17日 10月1日	児童厚生二級指導員研修会	中止(小笠原予定)
11月4日 5日 9日 10日	放課後児童支援員に係る都道府県認定資格研修 ※ 放課後児童支援員の認定資格を得るには16科目24時間の研修を受けなければならない。	石塚・成田(千) 原子
12月8日	青森県放課後児童支援員資質向上研修会 ～中堅者コース～	成田(智)

7 令和3年度 大鰐町中央児童館 消火・避難訓練実施報告書

(1) 目標

避難訓練の意味と大切さを知るとともに、利用者が職員の指示に従い、落ち着いた態度で機敏に行動できるようにする。また、職員が広い館内でも的確に伝達・指示・誘導出来るようにする。

(2) 内容

火災、地震、不審者侵入、自然災害を想定した避難訓練（年間13回）

（詳しい想定状況や訓練目的、役割分担、配慮等については、実施1週間前に関係職員へ配布）

(3) 参加者

児童館利用者、職員

（総合訓練については、福祉センターの利用者も含む）

(4) 実施内容

	日時	訓練内容	想定	参加人数
1	4月19日（月）14:00～14:10	消火・避難誘導	火災 1階娯楽室	44
2	5月12日（水）16:00～16:15	消火・避難誘導	地震	49
3	6月14日（月）16:00～16:10	消火・避難誘導	火災 2階炊事室	33
4	7月27日（火）14:30～15:15	通報・消火・避難誘導	総合訓練	56
5	8月6日（金）14:00～14:15	消火・避難誘導	地震	39
6	9月10日（金）14:30～14:40	消火・避難誘導	火災 2階視聴覚室	9
7	10月13日（水）16:15～16:30	通報・避難誘導	防犯避難訓練 （不審者侵入）	35
8	10月22日（金）16:00～16:10	消火・避難誘導	地震・火災 2階遊戯室	27
9	11月5日（金）10:00～17:00	情報収集・消火・避難誘導	非常災害（水害）・ 火災 1階ロビー	26
10	12月8日（水）16:00～16:15	消火・避難誘導	火災・2階小会議室	38
11	1月7日（金）11:00～11:45	通報・消火・避難誘導	総合訓練	43
12	2月2日（水）16:00～16:15	消火・避難誘導	地震・火災 3階廊下スト ーブ	10
13	3月23日（水）16:00～16:15	消火・避難誘導	火災・2階調理室	11
			計	420

※ 総合訓練については、総合福祉センターの訓練に参加

年度の前半は、危機感や真剣みに欠け、避難移動時の際に話をする子や遊具を持ったまま避難をする子、館外で虫に気を取られる子などがいた。また、点呼時や講評を聞く際にも、整列ができなかったり話をしている注意をされる子などもいたりした。その都度、場面や状態に応じて適切な指導を繰り返していくうちに、少しずつ成果が見られるようになり、年度中盤頃からは、真剣に参加しようとする意識や姿が見られるようになり、迅速な避難ができるようになった。

登録児童の利用簿のチェックも付け忘れが少なくなり、緊急時にも活用されることを理解し、意識をして付けられるようになってきたようだった。

令和3年度 大鰐町シルバー人材センター事業報告

1 就業機会の提供

会員の就業機会の提供は、会員の希望や能力、経験等を考慮しながら希望を配慮のうえ、グループ就業、ローテーション就業で仕事の配分をした。

仕事の内容は、除草、草刈り、清掃、りんご農作業及び駐車場誘導等で、技能職希望の会員の就業により、剪定作業の受注件数が増加、豪雪の影響で冬期徐排雪作業の受注件数が増加した。

- ・ 令和3年度 3月末会員数 男18名 女14名 計32名
 会員数 入会会員 男 4名 女 3名
 退会会員 男10名 女 2名
 (退会理由 死亡、加齢、家庭の事情、転居、その他)

・ 令和3年度 職群別事業実績

区分	職種	受注 件数 (件)	就業 実人員 (名)	就業 延人員 (名)	契約金額			
					配分金	事務費	材料費等	合計
サービス	宿直・守衛 駐車場誘導	16	/	361	1,859,300	210,030	71,972	2,141,302
保安	通学指導 (登校指導)	12	/	292	292,000	35,040	0	327,040
農林漁業	りんご農作業 雪囲い	50	/	898	5,518,780	551,878	188,437	6,259,095
生産工程	DM封入作業	1	/	1	10,764	1,076	0	11,840
運搬・ 清掃・ 包装等	清掃・徐草・ 草刈り	306	/	3,546	8,579,043	906,487	596,471	10,082,001
合計		385	41	5,098	16,259,887	1,704,511	856,880	18,821,278
前年度計		379	44	5,372	17,771,365	1,851,726	528,642	20,151,733

2 安全・就業対策の強化

センターの受託した仕事が、会員にふさわしい臨時的かつ短期的で軽易なものであったか確認し、就業中及び就業途上における事故防止のための声掛けを実施したが、蜂刺され事故が多かった。

- ・ 傷害事故 5件
- ・ 賠償事故（物損等） 0件

・ 保険適用事故一覧

事故発生日	就業中途上別	性別	年齢	事故の部位 症状	事故の概要 事故の原因	センターの対応
8月23日（月）	就業中	男	71	蜂刺され	(1) 草刈り作業中、草の中から出てきた蜂に刺された。 (2) 予測はしていたが、蜂を確認できず回避できなかった。	会員自ら受診 本人より連絡を受け、保険会社へ手続きした。
				手指		
				皮膚の炎症		
8月30日（月）	就業中	男	79	蜂刺され	(1) 草刈り作業中、草の中から出てきた蜂に刺された。 (2) 予測はしていたが、蜂を確認できず回避できなかった。	後日会員自ら受診 一緒に就業していた会員より連絡を受け、本人より連絡を受け、保険会社へ手続きした。
				手		
				皮膚の炎症		
8月31日（火）	就業中	男	79	蜂刺され	(1) 草刈り作業中、草の中から出てきた蜂に刺された。 (2) 予測はしていたが、蜂を確認できず回避できなかった。	会員自ら受診 本人より連絡を受け、保険会社へ手続きした。
				手		
				皮膚の炎症		
9月2日（木）	就業中	男	79	蜂刺され	(1) 草刈り作業中、草の中から出てきた蜂に刺された。 (2) 予測はしていたが、蜂を確認できず回避できなかった。	会員自ら受診 本人より連絡を受け、保険会社へ手続きした。
				手		
				皮膚の炎症		
10月13日（水）	就業中	男	68	蜂刺され	(1) 蜂巣駆除後、はしごから降り、防護服を脱いだ時、飛んでいた蜂に刺された。 (2) 注意を怠ったため。	会員自ら受診 本人より連絡を受け、保険会社へ手続きした。
				頭部		
				皮膚の炎症		